

沿環連 第17回 ジョイントシンポジウム

# 沿岸環境モニタリング

の継続性を支える  
制度・資金・人の現状と課題

今、“学”ができることは何か？

2007年2月17日(土)

■受付開始9:00～ 開会9:30～

東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館

主催■沿岸環境関連学会連絡協議会・日本水産学会

沿環連 <http://www.wv.mei.titech.ac.jp/coast-env/index.html>

応用生態工学会・水産海洋学会・日本水産学会・日本海洋学会海洋環境問題委員会  
土木学会海岸工学委員会・土木学会水工学委員会・日本水産工学会物質循環研究会  
日本船舶海洋工学会海洋環境研究交流会

主催者挨拶■今井一郎(日本水産学会水産環境保全委員会委員長、沿環連、京大院・農)  
趣旨説明■清野聡子(東大院・総合文化)・広石伸互(福井県立大)

## 第1部■沿岸環境モニタリングの現場の課題と解決の方向性

司会：広石伸互(福井県立大)

### A. 「赤潮・貝毒のモニタリング」を事例として(9:50～)

講演■水産試験研究機関からの現状報告および具体的な提案

1. 水産試験場の現場からの発言
  - 1) 愛媛県水産試験場 小泉喜嗣
  - 2) 三重県科学技術振興センター水産研究部 畑 直亜
2. 瀬戸内海および九州ブロックからの発言
  - 3) 香川県水産試験場 吉松定昭
  - 4) (独)水産総合研究センター西海区水産研究所 小谷祐一
3. 赤潮・貝毒のモニタリングの重要性、問題点および提案
  - 5) (独)水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所 板倉 茂
4. 水産庁の現状認識および対応
  - 6) 水産庁 漁場資源課 和田雅人

■討論

昼 休 み

### B. 研究活動、研究機関、地方自治体の事例(13:00～)

1. 水産海洋研究者  
沿岸環境モニタリングの重要性  
日本水路協会海洋情報研究センター 友定 彰
2. 地方自治体  
千葉県三番瀬再生事業における沿岸環境モニタリング  
千葉県三番瀬再生推進室 高橋良彦

## 第2部■沿岸環境モニタリングと法制度(13:50～)

司会：清野聡子(東大院・総合文化)

1. 海洋基本法案など海洋関連法の動向  
海洋政策研究財団 寺島紘士
2. 現在のモニタリング事業が依拠する現行関連法の概要の紹介  
関係各省 水産庁、環境省、国土交通省、海上保安庁など

■質疑応答

休 憩

## 第3部■沿岸環境モニタリングの継続と発展にむけてのアピール(15:30～)

1. 沿環連からの提言・アピールの原案について  
灘岡和夫(沿環連/東工大・院)  
※ワークショップ形式で原案をもとに、会場の参加で文章作成
2. 総括 沿環連アピールの今後の提言活動の具体的進め方

■意見交換会(17:30～)※会場付近

参加費■1000円(資料費含む)

申込先■申込専用アドレス：[monitoring@icataquo.jp](mailto:monitoring@icataquo.jp) FAX. 03-5454-6998 清野聡子宛  
東京大学大学院 総合文化研究科 広域システム科学 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1  
TEL. 03-5454-6793 FAX. 03-5454-6998 [fwid6176@mb.infoweb.ne.jp](mailto:fwid6176@mb.infoweb.ne.jp)

※メールかファックスでお願いいたします。当日参加も可能ですが、事前準備のため人数把握にご協力をお願いします。